

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：公益財団法人東京都バレーボール協会]

[記載日：2024年2月7日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・公益財団法人に関する法律を遵守し、当協会の定款に従い運営及び事業に関して的確に実施している。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・大会や講習会等を開催する際は当該施設の使用に関して、事前に打ち合わせ等を行い、施設が定めた規則や安全管理に関する条例等を遵守して適正な運営を行っている。 ・個人情報の取り扱いには十分に留意して管理運営をしている。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・会長1名、副会長2名、代表理事2名、理事16名、監事3名で定期的に理事会を実施している。 ・理事会とは別に毎月1回、同じ構成員で事業実施状況、報告等を含め意見交換や情報共有を行っている。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画や予算書は公開しているものの、運営方針の公開は行っていない。今後改善予定である。 	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・東京都体育協会で主催するコンプライアンスまたはガバナンスの講習会に、当会専務理事が参加している。 ・今後は専務理事だけでなく、業務執行理事や理事にも拡げていく必要がある。 	
(2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・指導者に対しては東京都バレーボール協会で開催している講習会でカリキュラムとしてコンプライアンス教育を組み込んでいる。 ・指導者・競技者・役員に対しては、NFより配布されている【暴力撤廃アクション!!】をスローガンとした横断幕を大会開催時に会場内に掲出、啓蒙活動を行っている。 	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士の指導の下、公益法人会計のソフトを利用し規程通りに会計処理を行っている。 	
(2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・東京都体育協会より配布されるマニュアルを経理担当へ展開し、各会計担当者説明会を開くなど遵守に努めている。 	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) <ul style="list-style-type: none"> ・当協会の会計規程に則り、公認会計士の指導の下に会計処理を行っている。その後、監事の監査を行い、理事会と評議員会の承認を得ている。 	

原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ホームページにおいて、定款、規程、財務状況等をすべて公表している。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ホームページにおいてスポーツ団体ガバナンスコードの公開を実施していない。今後は令和7年度には公表できるように検討をしている。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 3 について	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・現在はコンプライアンス委員会を設置していない。倫理規程を見直し、早い段階でのコンプライアンス委員会の設置を目指す。	
原則 ■ について	